

## 株主の皆さまへ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。第188期第2四半期(中間期)決算の概要をご報告申し上げます。

## 業績の概況

当中間連結会計期間における我が国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されるものの、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスク、金融資本市場の変動等の影響による懸念もあり、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループにおきましては、海外市場におけるパルプ販売数量の減少や、洋紙・板紙の販売数量減少等により、当中間連結会計期間の業績は、売上高139,787

百万円、営業利益2,019百万円、経常利益3,006百万円、親会社株主に帰属する中間純利益2,375百万円となりました。

## 中間配当について

当社は、長期安定的な企業価値向上に向けた成長投資を継続するために、財務健全性、資本効率性、株主還元のバランスを鑑みた資本政策を実施し、安定かつ継続的な配当を行うことを資本政策に関する基本的な方針としております。第188期中間配当金については、この方針に基づき、1株につき2円増配の13円とさせていただきました。

なお、年間配当金は26円を予定しております。



代表取締役社長 CEO

岸本哲夫

## 第2四半期(中間期)連結決算のご報告

## ■ 中間連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (2024.4.1～2024.9.30)	当中間連結会計期間 (2025.4.1～2025.9.30)
売 上 高	149,358	139,787
営 業 利 益	9,004	2,019
経 常 利 益	9,040	3,006
親会社株主に帰属する 中 間 純 利 益	6,281	2,375

## ■ 中間連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (2024.4.1～2024.9.30)	当中間連結会計期間 (2025.4.1～2025.9.30)
営業活動によるキャッシュ・フロー	22,943	3,539
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲9,041	▲7,497
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲11,001	▲1,220
現金及び現金同等物の中間期末残高	25,870	19,275

## ■ 中間連結貸借対照表(要旨)

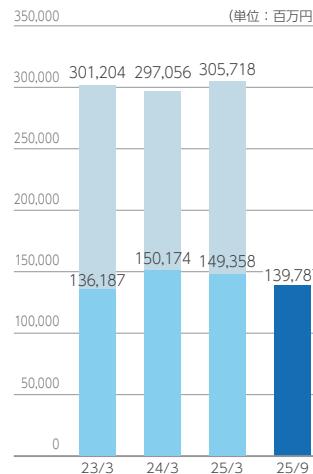
(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2025.3.31)	当中間連結会計期間 (2025.9.30)
流動資産	179,486	170,957
固定資産	239,396	241,582
資産合計	418,882	412,539
流動負債	82,005	85,090
固定負債	71,006	63,041
負債合計	153,012	148,131
純資産合計	265,870	264,408
負債純資産合計	418,882	412,539

## 連結財務ハイライト

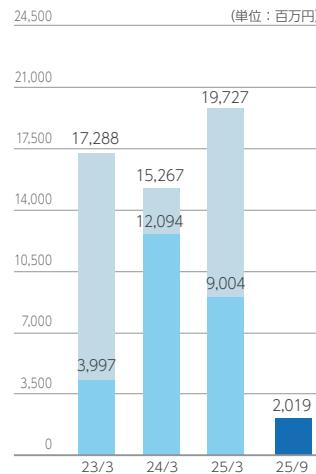
## 売上高

139,787百万円



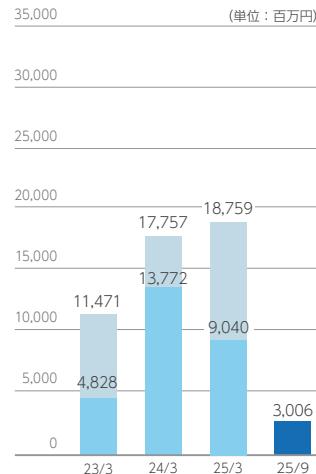
## 営業利益

2,019百万円



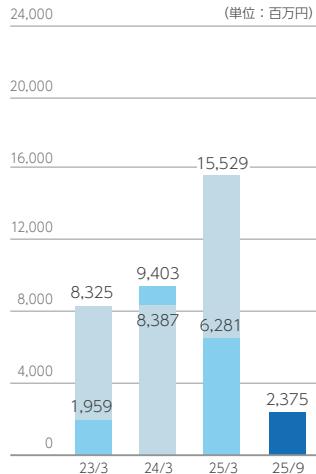
## 経常利益

3,006百万円



## 親会社株主に帰属する純利益

2,375百万円



## ■ 鉄道を活用した紙と自動車の異業種ラウンドマッチング輸送を開始

当社は、紙製品の輸送において鉄道利用を積極的に拡大し、CO<sub>2</sub>排出量削減に貢献しています。2025年2月には、ダイハツ工業株式会社、NIPPON EXPRESSホールディングス株式会社、日本貨物鉄道株式会社と連携し、当社の20ftコンテナを活用した異業種間のラウンドマッチング輸送を開始しました。通常片道輸送となる事例が多い中、復路でダイハツ工業株式会社の自動車を積載することで、物流の効率化と環境負荷低減を両立しています。また、この取り組みが評価され、国土交通省の諮問機関より「エコレールマーク優秀事業者賞」を受賞しました。今後も鉄道輸送の利用促進やサプライチェーン全体での脱炭素化を推進し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。



## ■ 外川山林が地域生物多様性増進法に基づく自然共生サイトに登録

当社が岩手県に所有する外川山林で実施する保全活動計画が、令和7年4月より施行された地域生物多様性増進法に基づく「増進活動実施計画(維持タイプ)」として環境大臣、農林水産大臣及び国土交通大臣より認定され、同山林が本法の制度に基づく自然共生サイトとして登録されました。本制度はネイチャーポジティブ実現に向けた30by30目標\*達成のための取り組みの一つです。当社は同山林での森林認証を維持するとともに、森林経営計画の認定も受けており、これらに従った管理を地道に行っていることが、今回の認定に繋がりました。今後も森林資源の適正管理と地域との共生に努め、環境保全と企業価値向上の両立をめざします。



## 会社情報及び株式の概況

### ■ 会社概要

会社名	北越コーポレーション株式会社
設立	1907年4月27日
本店所在地	新潟県長岡市西蔵王三丁目5番1号
資本金	42,020,940,239円
従業員数	3,711名(連結) 1,472名(単体)
U R L	<a href="https://www.hokuetucorp.com">https://www.hokuetucorp.com</a>

### ■ 株式の状況(2025年9月30日現在)

発行可能株式総数	500,000,000株
発行済株式総数	168,814,269株 (自己株式19,238,845株を除く)
株主数	9,870名

### ■ 役員(2025年9月30日現在)

代表取締役社長CEO	岸本 哲夫
専務取締役	若本 茂
専務取締役	立花 滋春
取締役CFO	柳澤 誠
取締役	石塚 豊
取締役	飯田 智之
社外取締役	岩田 満泰
社外取締役	中瀬 一夫
社外取締役	倉本 博光
社外取締役	二瓶ひろ子
常勤監査役	上野 学
社外監査役	井上 寅喜
社外監査役	近藤 剛

### ■ 大株主の状況(2025年9月30日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
美須賀海運株式会社	18,806	11.14
大王海運株式会社	16,820	9.96
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	10,600	6.28
株式会社第四北越銀行	8,332	4.94
北越コーポレーション持株会	7,072	4.19
住友不動産株式会社	6,066	3.59
OASIS JAPAN STRATEGIC FUND LTD.	5,615	3.33
損害保険ジャパン株式会社	4,499	2.67
農林中央金庫	3,554	2.11
OASIS INVESTMENTS II MASTER FUND LTD.	3,330	1.97

(注)

1.当社は自己株式19,238千株を所有しておりますが、大株主からは除外しております。

2.上記「大株主の状況」の持株比率は、自己株式数を控除して算出しております。

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
剰余金の配当基準日	3月31日(中間配当9月30日)
定期株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社
同連絡先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-288-324 (フリーダイヤル)
公告方法	電子公告 <a href="https://www.hokuetucorp.com/koukoku.html">https://www.hokuetucorp.com/koukoku.html</a> やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は日本経済新聞および新潟日報に掲載致します。

### 単元未満株式【買増制度】【買取制度】のご案内

当社は、単元未満株式について、【買増制度】(1単元(100株)未満の株式を所有されている株主様が、1単元にするために不足分を買い増しすることができる)と、【買取制度】(1単元未満の株式を所有されている株主様の株式を当社が買取り、処分することができる)を導入しております。お手続きにつきましては、上記連絡先にお電話ください。

### 株主総会資料の書面交付請求を希望される方へのご案内

お取引先の証券会社またはみずほ信託銀行にお問い合わせください。

みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

電子提供制度専用ダイヤル

(電話) 0120-524-324 (フリーダイヤル)

### 北越グループ統合報告書2025のご案内

当社ウェブサイトより統合報告書2025を閲覧いただけます。当社グループの価値創造やサステナビリティ、ガバナンス等について集約しております。ぜひご一読ください。

[https://www.hokuetucorp.com/pdf/cr/cr2025\\_jp.pdf](https://www.hokuetucorp.com/pdf/cr/cr2025_jp.pdf)



## 北越コーポレーション株式会社

〒103-0021 東京都中央区日本橋本石町三丁目2番2号  
TEL 03-3245-4500 FAX 03-3245-4743

本レポートは、北越コーポレーションミューコートネオス-F 104.7g/m<sup>2</sup>を使用しております



UD  
FONT